

# 飛躍する、遺伝病に対する 遺伝子治療の臨床応用

Expanding clinical application of gene therapy for genetic diseases

開催日

2022 1.20 木 9:00~17:30

会場

東京慈恵会医科大学 1号館「3階講堂」

当番幹事

山形 崇倫 (自治医科大学小児科学 主任教授)

参加費

一般: 3,000円 学生: 無料 (要・学生証提出) 企業: 10,000円

プログラム

時間	プログラム
9:00~ 9:15	開会挨拶 山形 崇倫 (第12回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム 当番幹事) 衛藤 義勝 (国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム 代表幹事)
9:15~10:15	AAVを用いた遺伝子治療の臨床 1) ソルゲンスマの世界的な治療結果 ●●●●●●●●●●●● (Novartis Pharma K.K.) 2) ムコ多糖症 I / II の AAV 治療 Marie-Laure Névoret (REGENXBIO Inc., USA)
10:15~10:55	AAVによる肝障害と脊髄後索障害 James M. Willson (University of Pennsylvania, USA)
10:55~11:00	休憩
11:00~11:40	Rebulated control of gene therapies by drug-induced splicing Beverly L. Davidson (University of Pennsylvania, USA)
11:40~12:40	血友病 1) 血友病B Gregory Di Russo (Pfizer Inc.) 2) 血友病A 桑原 光弘 (BioMarin Pharmaceutical Japan)
12:40~12:45	休憩
12:45~13:45	ランチョンセミナー ●●●●●●●●●●●● (Takara Bio Inc.)
13:45~13:55	休憩
13:55~14:25	AMEDの遺伝子治療への支援 高倉 伸幸 (国立研究開発法人日本医療研究開発機構再生・細胞医療・遺伝子治療事業部)
11:40~12:40	AADC欠損症 1) AADC欠損症長期経過 小島 華林 (自治医科大学小児科学) 2) 台湾例 Wuh-Liang Hwu (National Taiwan University Hospital, Taiwan)
15:25~15:40	休憩
15:40~17:10	ex vivo 1) integration siteについて 内田 直也 (東京大学医科学研究所 遺伝子・細胞治療センター) 2) Hurler症候群のex vivo治療 Aiuti Alessandro (Vita-Salute San Raffaele University, Italy) 3) MLD Chris Dott (Orchard Therapeutics, UK)
17:10~17:30	次期会長挨拶 ●●●● (●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●) 弊会挨拶 森下 竜一 (日本遺伝子細胞治療学会 理事長)

(敬称略)

## 第12回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

〔主 催〕 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会  
〔共 催〕 NPO法人日本ライソゾーム病研究センター

〔後 援〕 一般社団法人日本遺伝子細胞治療学会

事務局

自治医科大学小児科学

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

TEL: 0285-58-7366

FAX: 0285-44-6123

運営事務局

株式会社SKアベックスプラン内

〒104-0041 東京都中央区新富1-8-6 SSビル5階

TEL: 03-3523-3722

FAX: 03-3523-3723

e-mail: info@skap.jp